

AAF NEWS

VOL.18

2017
AUTUMN

ご協力いただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

NEWS

TOPICS

ブッダ・スクールのバレーボールチームがゴルカ郡の高校生の大会で優勝しました

堺市主催の「まちづくり講演会」と日本プロジェクトマネジメント協会主催の「PMシンポジウム2017」でAAFが講演を行いました

INFORMATION

AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



ブッダ・スクールの食堂で給食中の生徒たち

NEWS

フィリムのブッダ・スクールの寄宿生が増加、5棟目の寄宿舎の増築を決定しました。
マナスル街道の拡幅工事が進んでいます。

>次ページに詳細を掲載

NEWS

フィリムのブッダ・スクールの寄宿生が増加、5棟目の寄宿舎の増築を決定しました

2015年のネパール中部大地震前に125名だったブッダ・スクールの寄宿生が、地震後2年の間に年々増加し、現在165名となりました。

多くの皆様からのご支援により今年3月末に地震で被災した3棟の寄宿舎の再建工事が完了、無事だった寄宿舎1棟と合わせて4棟の寄宿舎が使用できるようになりましたが、寄宿舎1棟の収容人数は最大でも30数名が限界のため、現時点で29名の生徒が寄宿舎に入居できず、トタンの波板で壁と屋根を作った仮設宿舎で生活をしています。地震直後は自宅が被災したり、通学路が崩れて通れなくなったために、一時的に学校の敷地内でテント生活をする生徒が増大しましたが、復旧にともない徐々に減少、地震から1年後の寄宿生は地震前から25名増の150名でした。今年はさらに15名増え、ネパール政府も165名の寄宿生に対して給食費を支給することを承諾しました。

これを受け、AAFは本年9月下旬に学校運営委員会と会議をし、いまだ壁が崩れたままの便所棟の建替と5棟目の寄宿舎の増築とどちらを優先するかをヒアリングした結果、寄宿舎の建設を先行して行うことを決定、来年の3月末竣工を目標に工事を進めることになりました。便所棟の建替については増加した生徒数に対応するため便器数を増やし、耐震補強も含めた設計を既に完了しており、5棟目の寄宿舎に引き続き工事に着手する予定をしています。



仮設宿舎で生活する生徒たち



トタンの波板で作られた仮設宿舎



壁が崩れた状態のままの便所棟

マナスル街道の拡幅工事が進んでいます

地震による崖崩れや地滑りで通行が困難になっていたマナスル街道で、山道の復旧や拡幅工事が進んでいます。現在車が入ることができるソティという村より北側は徒歩しか交通手段がなく、ブッダ・スクールのあるフィリムまでは歩いて2日かかりますが、ソティ以北から数キロに渡り重機が入って斜面を削り、山道を拡幅する工事を進めています。フィリムまでの道程と比較するとまだまだわずかな距離ですが、少しでも車道を北上させることで今は人力やロバに頼るしかない資材の運搬等の利便性を高めようというものです。一方さらに北部の崖崩れがあった地域ではまだ大半が崩れた状態のまま放置されていますが、少なくとも人やロバが前を向いて歩けるだけの道幅の復旧は進められており、徐々に改善しています。



重機とロバが共存する山道

TOPICS

ブッダ・スクールのバレーボールチームがゴルカ郡の高校生の大会で優勝しました

山岳地帯のフィリムでは以前はまとまった平らな土地がなく、球技をすることが困難でしたが、ブッダ・スクールができてからはグラウンドでバレーボールやサッカーができるようになりました。特に現在はバレーボールが盛んで、先生方の熱心な指導もあり、今年の2月にゴルカ郡の高校生のバレーボール大会でブッダ・スクールの男子チームが見事優勝を果たしました。これは日本の県大会優勝に相当する栄誉です。

バレーボールはサッカーとともにネパールで人気のある球技の1つで、過去にはアジア選手権に出場したこともあるメジャースポーツです。競技人口も多く、郡で優勝するには個人の能力に加えてチームでの相当な練習が必要と思わ



バレーボールを指導するラジャン先生と優勝トロフィー



グラウンドで練習する生徒たち



ゴルカ郡で優勝した時の記念写真

れます。9月にAAFが学校を訪れた時も、放課後に生徒たちは熱心に練習をしていました。

勉学では毎年優秀な成績を残しているブッダ・スクールですが、スポーツでも結果を出し、文武両道の学校に成長しつつあります。

堺市主催の「まちづくり講演会」と日本プロジェクトマネジメント協会主催の「PMシンポジウム2017」でAAFが講演を行いました

本年7月22日(土)にAAF理事長の赤尾建藏が堺市産業振興センターにて、「建築に携わる者によるまちづくり活動ーヒマラヤの学校建設ー」をテーマに講演を行いました。堺市民を対象にした講演会は2016年12月の「多文化共生楽習会」に続き2度目です。当日は約30名の参加がありました。

また9月14日(木)にはAAF副理事長の野田隆史が東京都江戸川区のタワーホール船堀にて、日本プロジェクトマネジメント協会が主催する「PMシンポジウム2017」で講演を行いました。このシンポジウムは2日間にわたり、様々な分野の企業、大学、NPO法人などが参加し、講演やセミナーを行う国内最大のプロジェクトマネジメントのシンポジウムで、今年で第20回目になります。今年の大会テーマは「次世代への共創」。ICTの進展に加え、人口増大、気候変動あるいは混沌とした政治・経済など、単独で切り拓いて行くのが難しい時代において、次の世代に繋ぐイノベーションを実現させるためには、年齢、性別、企業、国を超えた共創と、その活動を支えるプロジェクトマネジメントが必須であるとの考えに基づき、次世代に繋がる65の講演が行われ、2700名以上の参加者がありました。AAFはアジアの途上国における建設支援プロジェクトの事例の紹介として「ヒマラヤの学校建設ー学校がない途上国の子どもたちのために」と題する講演を行いました。

このような講演会をきっかけに一人でも多くの方に途上国の現状を知っていただき、支援の輪が広がっていくことを期待したいと思います。

AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に設立した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィルムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、ポカラの女子学生寮の建設支援など、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

設立以来15年間任意団体として活動した後、2015年4月に特定非営利活動法人の認証を取得し、現在に至っています。

AAFの活動と実績

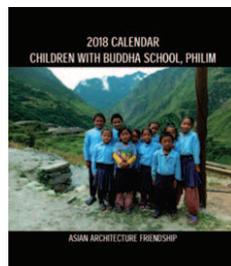
- 1999.10 竹中工務店設計部有志を中心としたメンバーでネパールを視察
- 1999.12 ネパールのヒマラヤ山麓の村、フィルムを調査
- 2000.03 ボランティア団体AAF(Asian Architecture Friendship)を設立、ネパールのフィルムにて学校建設計画をスタート
- 2001.10 草の根無償資金の供与を受け、フィルムの学校が着工
- 2003.04 フィルムの学校 'Buddha Primary&Secondary School (ブッダ・スクール)'竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう!建築家のボランティア奮闘記」(彰国社)を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動ーヒマラヤの学校建設ー」展を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤキャンパス・ポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出展
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィルムのブッダ・スクール、ポカラのさくら寮がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出展
- 2009.05 フィルムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 ブッダ・スクールが第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後ーAAFのNGO活動展vol.2」を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2011.09 UIA2011東京大会第24回世界建築会議にてフィルムの学校プロジェクトを発表
- 2011.12 フィルムに4棟目の寄宿舎が竣工
- 2012.09 フィルムの3期工事(厨房棟)が着工
- 2013.02 厨房棟が竣工
- 2013.12 引き続き教員宿舎が着工
- 2015.02 「ヒマラヤの学校建設15年の軌跡ーAAFのNGO活動展vol.3」を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2015.04 AAFが特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を取得
- 2015.04 ネパール中部で発生した大地震により、フィルムのブッダ・スクールが被災
- 2015.09 ブッダ・スクールの被災状況について現地調査を実施
寄宿舎3棟と工事中の教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受ける
- 2016.01 地震で被災した寄宿舎の再建工事に着手
- 2016.04 1棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2016.07 自由都市・堺 平和貢献賞受賞
- 2016.07 2棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2017.03 3棟目の寄宿舎の再建工事が完了

INFORMATION

2018年のAAFカレンダーができました

2018年のAAFカレンダーができました。

ご希望の方は1口1000円の寄付+送料(下記参照)をお願いいたします。寄付1口につき、カレンダーを1部お送りさせていただきます。



卓上型・CDケース入り
サイズ12.5cm×14.1cm×0.9cm

>>>申込方法①: AAFの公式サイトのカレンダー申込ページ(下記)からお申込みください

<http://aafjpn.org/contribution/calendar2018/mousikomi>

>>>申込方法②: ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「カレンダー希望」と記入の上、寄付金(1口1000円)と送料をお振込みください(記入がない場合は通常の寄付扱いとなります)

※送料/1口:200円 2口:250円 3~4口:350円
5~8口:400円 9口以上:550円

AAFの賛助会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

賛助会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの賛助会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。賛助会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。賛助会員になっていただいた方には会報「AAF NEWS」と「AAFカレンダー」をお送りさせていただきます。ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>>入会方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

>>>会費

一般賛助会員:1口 5,000円(年額)
法人賛助会員:1口50,000円(年額)

AAFへの郵便振替は下記口座をお願いいたします

>>>口座番号:00910-0-64819

>>>加入者名:AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報にはAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

編集後記

フィルム周辺の人は底の薄いゴム草履で何時間でも歩く。が、飛んだり跳ねたりのバレーボールにもゴム草履とは驚きです。脱げないのだからか・・・ T